病害虫防除技術情報第１５号

令和５年 10 月 27 日

三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウの発生が平年より多い状況が続いています

1 対 象 作 物 ： 野菜類(アブラナ科野菜、イチゴなど)、花き

2 対象病害虫名 ： ハスモンヨトウ

3 発生状況と今後の予測

(1)フェロモントラップにおける誘殺数は、松阪市嬉野川北町(9月第6半旬～10月第5半旬)で 5,511 頭(平年 1,856 頭)と多い状況です(図1及び図2)。

(2)1か月予報(10 月 26 日・名古屋地方気象台発表)によると、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並か少ない見込みです。このため、ハスモンヨトウの発生に好適な条件が続くと考えられます。

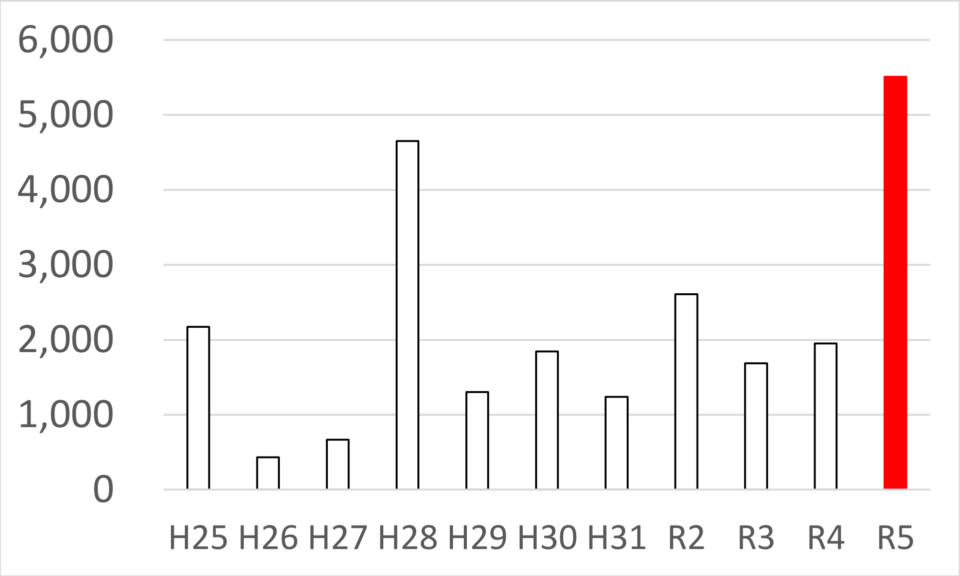

図１　フェロモントラップ誘殺数の過去 10 年との比較
（9 月第 6 半旬～10 月第 5 半旬）

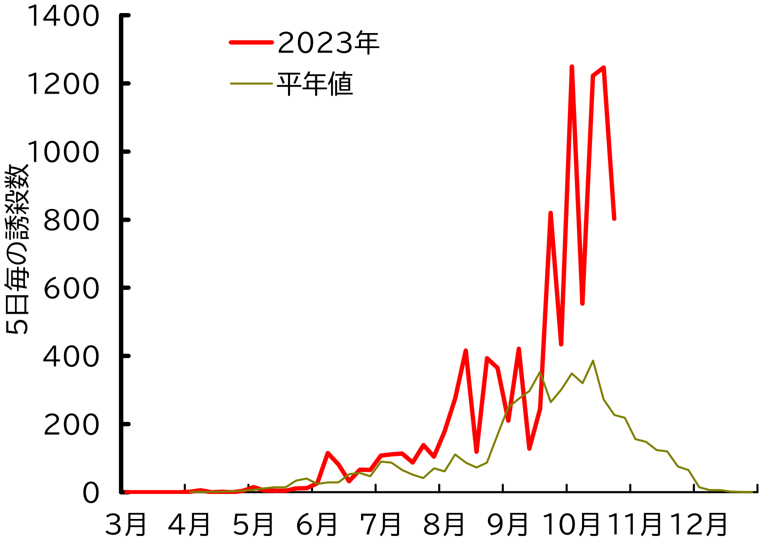

図２　フェロモントラップ誘殺数の推移（令和５年度）

４　防除上の注意事項

（1）白変葉に注意して早期発見に努め、若齢のうちに防除してください。

（2）若齢幼虫は葉裏に群集するので、薬剤は葉裏にかかるように丁寧に散布してください。

（3）施設栽培の場合は、開口部に防虫ネットなどを隙間なく設置して侵入を防いでください。パイプや柱などやや高いところにも産卵するので注意してください。

（4）薬剤抵抗性回避のため、異なる作用機構の薬剤をローテーション散布してください。

（5）防除薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。
（https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie）

（6）ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺状況は、以下の野菜の病害虫のページにて随時更新しています。
（https://www.pref.mie.lg.jp/byogai/hp/39619007432.htm）

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。